

ぐる～ぶ1 世話人挨拶



株式会社アスト
丸井 栄

明けましておめでとうございます。

今、遭遇している「コロナ禍」は種々の社会関係性に変化をもたらすものと考えます。そのため、この時期を「より良い関係性」を構築する良い機会と捉え、みんなで知恵を出し合って「在り方」を模索していきたいと思えます。



株式会社コマヤ建材
小宮 正

あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりました。今年もぐる～ぶ1の皆様と共に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



株式会社若狭建物
出口 樹弘

新年おめでとうございます。昨年はコロナウイルスで私達の生活は一変し、経済優先か健康優先か等々、考えさせられる一年でした。一日も早く皆様と笑顔でお会いしたいと願っています。本年も宜しくお願い致します。



株式会社メモリアル
森田 佑二

昨年はコロナでぐる～ぶ1の行事・会合を持たず、話し合う機会がありませんでした。今年は景気も上向き、良い年になるよう期待したいと思います。



大橋工業株式会社
大橋 親吾

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウィルスの影響で様々な業種の皆様が大変な苦勞をされたことかと思えます。このコロナ禍はいつ収束するかわかりませんが、今年も東京オリンピック開催予定なので、皆さんも一緒に日本を盛りあげましょう！今年もお客様に自信と誇りをもって仕事をしています。



ニッケン建設株式会社
運見 利之

新年のご挨拶を申し上げます。厳しい経営環境ではありますが、ぐる～ぶ1の皆様と共に学習、交流を重ねて乗り切っていきたいと思います。本年が、明るく平和な一年となりますようお祈り致します。

コロナ支援 「持続化給付金」申請期限迫る!!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業者に給付されている「持続化給付金」の申請期限が、2021年(令和3年)1月15日に迫っています。前年同月比で50%以上売上が減少している月(2020年1月～12月までのいずれかの月)があれば給付の対象となり、法人で最大200万円、個人事業主で最大100万円給付される制度です。最終12月で売上が50%減少した場合も対象となりますので、急がず申請する必要があります。申請手続きについては、弊社担当者で全面的にサポート致しますので、お気軽にご連絡ください。

また、同じくコロナウイルス影響による措置として、「固定資産税の減免」制度が創設されています。売上で一定以上減少している中小企業者・小規模事業者に対し、2021年度の固定資産税・都市計画税を全額または半分に減免する制度です。減免を受けるには認定支援機関の確認を受けた申請書を2021年2月1日までに、市町村に提出する必要があります。

税理士法人第一経営は全ての事業所で認定支援機関として登録されています。申請要件や減免額、申請手数料など詳細については担当者まで、お問い合わせください。年末調整計算時期と重なりますので、早めの準備(売上額の集計等)にご協力をお願い致します。

越谷事務所 遠藤 和之



(株)第一経営相談所 2021年 新春Web講演会

共催 第一経営・ぐる～ぶ1

日時 1月20日(木) 17:00開会 19:00閉会
開催形式 ZoomによるWeb方式で開催します(申込時にメールアドレスの登録が必要です。)
参加費 無料

新春講演 (仮題) ウィズコロナ!! 変化は危機かチャンスか?
挑戦する中小企業の気づき
講師 林 隆史氏 (東京中小企業家同友会事務局長)
※自社ビル3分間プロモーションビデオ(自作)の紹介コーナーがあります。(PV制作会社をご紹介します)



参加登録
リンク

編集後記

昨年の年初からのコロナ感染症が収まりません。引き続きコロナ禍でお客様支援を最優先して、少しでもお役に立てる所報をお届けしたいと、多くの方々にこ

協力をお願いすることが出来ました。これからもよりよいものになりたいと考えています。

本部署所長 吉田 晃

表紙の
写真

さいたま市の見沼自然公園です。年明けの積雪後に、朝日を受けてキラキラと輝くカッパルがおりまわりました。

本部署所長 永塚 友伸

発行 株式会社 第一経営相談所 経営本部 総務部
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-332 TEL 048(650)0101

ホームページ <http://www.daiichi-keiei.com/>

表紙の写真編集
担当 山田(吉田)にご連絡下さい。

第一経営

(株)第一経営相談所
税理士法人 第一経営
労務士法人 第一経営

2021年新年号
No.171

経営理念 私たちは、お客様とそこに働く人々の夢と幸せを実現するために行動します。

- ・納税者の権利を守り、中小企業と国民が主人公の税制をめざします。
- ・中小企業の経営の発展と、平和で豊かな地域社会をつくることに貢献します。
- ・中小企業家の多面的な要求解決のために努力します。
- ・私たちは共に成長し、働く喜びを実現します。

Contents

- P3～P4 「新春インタビュー」(鈴木孝～ぐる～ぶ1代表×龍ノ浦へ代表)
- P5 ぐる～ぶ1世話人の皆さんからの新春メッセージ
- P6 コロナ支援「持続化給付金」申請期限迫る!! / 新春文芸会のご案内



謹賀新年

写真の提供は永塚 友伸



新春インタビュー

(鈴木くる〜ぶ1代表 × 前グループ代表)

引き続くコロナ禍でどう経営をしていくべきか、どういう経営者をめざすべきか。この状況の中で第一経営はどうお客様支援をしていくのか、くる〜ぶ1は会員同士の交流をどう深めていくのか。

新しい年を迎え、前喜美雄第一経営グループ代表と鈴木芳晴くる〜ぶ1代表世話人に対談で新年に向けて、思いを語っていただきました。聞き手は所報担当責任者の遠藤和之経営委員(越谷事務所)です。



遠藤 あけましておめでとうございます。それぞれ年頭のご挨拶をお願いします。

前 あけましておめでとうございます。私たちが第一経営グループの昨年はお客様支援を最優先した一年でした。

昨年4月から緊急アンケートを実施し、資金繰りや助成制度の情報を提供して参りました。結果、持続化給付金は法人の三分の一のお客様が申請されました。

2021年はお客様の経営

をどう維持して頂くか、弊社職員は精一杯力を入れていきたいと思っております。

鈴木 あけましておめでとうございます。昨年は前さんが新社長に就任された年ですが、就任早々から新型コロナウイルス禍の、大変なことが取りこぼれなかったと思います。

私達を取り巻く状況は一変しました。そんな中、くる〜ぶ1総会も開けない事態に陥りました。

出来る事から始めようとして、11月後半から、表彰式をしないゴルフコンペ、さきたま古墳公園ハイキング、Webセミナーなど実施して



きました。

今年はくる〜ぶ1に参加する皆さんに今後の方針をお示しできればと思います。

遠藤 この状況で経営を維持していくため、どういう経営をしていくべきか、どういう経営者をめざすべきかお聞かせ下さい。

前 多くのお客様は過去の環境激変、経済危機(リーマンショック、バブル経済崩壊、第1次・第2次オイルショック等)を乗り越えていらっしゃいます。その事自体すごい事です。

昨年4月の緊急事態宣言を受け、在宅勤務を始めるを得なかったですし、お客様にお会いする事自体が難しくなりました。最初は電話、Faxで情報を提供しましたが、それだけでは不十分で、テレビ会議によるリモートを試し始めています。今の商品サービスが時代にマッチしているのか、今までやってきた経営の全てを見直す事が経営者に求められています。

2021年は今までやってきたこと、例えば在宅勤務も生産性を向上できるよう更に工夫してお客様が満足できるようなサービスをしていきたいと思っております。

鈴木 私が独立したときは第2次オイルショック、ちょうど昭和55年でした。トイレットペーパーとかセメントが不足し、住宅着工戸数は過去最高時の180万户〜190万户から113万户に激減した年なんです。

その時、何もないところから始まったものだから、このコロナ禍においても個人的にはそんなにショックはないんですよ。そ



くる〜ぶ1代表世話人 鈴木 芳晴

の後、昭和から平成にかけてのバブルの時代、リーマンショック、東日本大震災など数々の災害を経験した中でここまで生き残れたのは、どれだけ相手の立場に立てるかというのでは、ないかと思えます。

昨年のような緊急事態の時こそそれだけ相手の立場に立てるか試された年だったと思います。

これから大事なことは、皆さんと一緒に力を合わせながら経営努力をすることはもちろん、利益を追求するだけではなく、幸せな生活を追求するようなそんな形の経営がしていければいいなと思えます。

前 社長は無料で家の点検をしたり、まな板削りなどをしているの、少し紹介して下さいませんか？

鈴木 うちでは年間行事で、事務所でも健康教室、書道教室、アロディオン教室、それから地域の保育園のバザーのお手伝いとかバザーでの包丁研ぎなど30年以上続けています。

毎年12月に300件くらい個人のお客様宅を訪問して、包丁研ぎ、まな板削りや住宅を点検して、実費のからないものに関しては無料で直しています。これは20年位続けていて、これがコロナ禍でもお客様が助けてくれた原動力の一つになったと思えます。

ただ、昨年は中止せざるを得なかったですね。今年は途中でどこかでやりたいと思っています。どれだけ地域とつながっているかがとても大



事だと思います。

リピーターが多いですよ。150件くらいですが、毎年・毎年頼まれたり、何年か一度頼まれたりします。お客様に守られてやってきたということです。

前 地域のお客様との信頼関係を築き上げてきたということですね。

遠藤 それでは最後に「お客様支援というところで、具体的に第一経営としては何をするのか、お話をお願いします。

前 日常的には、担当者がお客様訪問をする際に経営状況を聞き取りさせて頂き、どんなことに困っているの、その経営のやり方でもいいのか、そこを担当者と一緒で考えて改善していければと思っています。

またこの時代に対応するには、オンライン取引や商談ができる事が取引相手にしてもらえるかということにつながってくるのではないかと思います。

新春交歓会はお集まり頂く事が出来ませんので、1月20日に今回初めてオンラインでZoom会議システムを使って新春講演会を開催させて頂きます。

講演して頂く中小企業家同友会の東京同友会事務局長の林隆史様に、全国の経営者のコロナ禍で経営を憂えてきた事例を数多く聞ける機会です。

一社だけでは提供できないサービスを連携により提供する。通信販売でリアルとバーチャルを融合させながら売上に結

び付けるなどの事例ですので、経営のヒントになると思います。

オンラインツール未経験の方も是非この機会にご参加下さい。参加方法は弊社担当者にお問い合わせください。

遠藤 それではくる〜ぶ1の運動、コロナ禍でも会員同士の交流をどう深めていくかというところをお願いしたいと思います。

鈴木 第一経営

が前新社長になりましたが、引き続きくる〜ぶ1のバックアップをお願いします。私たちがくる〜ぶ1の中でも、大きく打撃を受けた職種の方がいると思うんですね。特に飲食業関係の方は、密になつてはいけないということで、やりたくても仕事ができないという状況が年末にかけますます悪化していきました。

今年も引き続き大変な状況が続くと思います。一番心配しているのは多額の借入をした結果、倒産してしまうことです。政府などの補助金を受け取りながら、取入に合わせた借入を行い、返済の目安を付けて経営を進めていくことが大切になると思います。

くる〜ぶ1の会員各社・第一経営のお客様各社が生き残れるということ、第一経営の職員のみなさんが事務所ごともしっかり把握して頂いて、生き残れる方向で頑張っていたきたいと思っております。私達もくる〜ぶ1という立場で、共に頑張る、共に成長していく努力をしたいと思っております。

今年もよろしくお祈りいたします。



聞き手 遠藤 和之